

(別紙1)

「ムーンショット型研究開発制度」ビジョナリー会議構成員
(敬称略、五十音順)

江田 麻季子 世界経済フォーラム 日本代表

落合 陽一 メディアアーティスト

尾崎マリサ優美 アーティスト
(スプツニ子!) 東京大学 特任准教授

北野 宏明 ソーシアル・メディア・インテリジェンス研究所 代表取締役社長、所長

小林 喜光 経済同友会 代表幹事
株式会社三菱ケミカルホールディングス取締役会長

西口 尚宏 一般社団法人 Japan Innovation Network
専務理事

藤井 太洋 SF 作家

このほか、上記有識者（コアメンバー）による議論を産業界や専門家の視点、国際的な議論の広がり等の観点から側面支援いただくサポーターを随時、追加委嘱する予定。

最先端技術を応用して解決を目指す社会課題や挑戦的な研究開発の提案を募集

政策統括官（科学技術・イノベーション担当）

回答者へのメッセージ

内閣府総合科学技術・イノベーション会議では、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発を推進する「ムーンショット型研究開発制度」の創設を進めております。

本制度の特徴として、未来社会を展望し、困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象として、国が野心的な目標（以下「ムーンショット目標」という。）を掲げることとしています。

今般、ムーンショット目標の設定に向け、有識者会議（以下「ビジョナリー会議」という。）を設置し、検討を開始することとしておりますが、ビジョナリー会議における議論の参考とするため、最先端技術を応用して解決を目指す未来の社会課題等に関し、皆様からの提案を下記のとおり募集します。

提案のある方は、締め切りまでにフォームに記入し応募してください。

なお、本募集は研究開発アイデアを採択するものではありません。研究開発アイデアの採択については、ムーンショット目標設定後、改めて募集することとしております。

記

・募集期間：平成31年3月15日（金）～4月15日（月）17：00まで

【応募に当たっての注意事項】

- ・記載情報は、本制度の運用主体である内閣府、文部科学省、経済産業省、国立研究開発法人科学技術振興機構及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が情報を共有し、とりまとめ結果等をビジョナリー会議等に報告することとします。
- ・ビジョナリー会議等における検討資料とするため、公開欄にご登録いただいた情報は予告なく公開される場合があることにご留意ください。
- ・内閣府より御提案内容について問い合わせる可能性があるため、所属、役職と氏名、住所、電話番号、メールアドレスの個人情報を御記載いただけます。お寄せいただいた個人情報につきましては、御意見の内容確認等の連絡目的に限って利用し、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第58号）に基づき、適正な管理を行います。
- ・一度応募いただいた内容を修正・変更することはできません。
- ・応募に関する個別の問い合わせには、応じられません。
- ・その他、施策一般に関する御意見等は、本募集の対象とはなりません。

必要事項を記入後、[内容確認画面へ進む]ボタンをクリックしてください。

- 2 文字化けを防ぐため、半角カタカナ、丸数字、特殊文字は使用しないでください。使用された場合、一部特殊文字は規則に従い、自動的に置き換えて受信を行います。あらかじめ御了承ください。（詳細は「[置き換え規則について](#)」を御覧ください。）

1.提案内容

<p>1-1.これから日本が優先して取り 相まなければならぬと考える領 域・分野を一つ選んでください。 【公開】</p> <p>※必須</p>	<input type="text" value="-- 選択してください --"/>
<p>「その他」を選んだ場合ご記入くだ さい。</p>	<input type="text"/> <p>残り文字数100</p>
<p>1-2. 1-1の領域・分野において、最先端技術を適用・応用して解決を目指すべきと考える社会課題の具体的な内容をご記載下さい。</p>	
<p>・社会課題の具体的な内容【公開】 (150文字以内)</p> <p>※必須</p>	<input type="text"/> <p>残り文字数150</p>
<p>・キーワード【公開】(30文字以 内)</p> <p>※必須</p>	<input type="text"/> <p>残り文字数30</p>
<p>1-3.参考情報として、1-2の課題を解決するための、従来技術の延長にないより大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発アイデア等があればご記載ください。【任意】従来技術の延長でないことが明確にわかるよう、課題のボトルネックやブレークスルーの技術的サプライズ等を具体的に御記載下さい。</p>	
<p>・研究開発テーマ名(50文字以内)</p>	<input type="text"/> <p>残り文字数50</p>
<p>・研究開発内容(500文字以内)</p>	<input type="text"/> <p>残り文字数500</p>
<p>・キーワード(30文字以内)</p>	<input type="text"/> <p>残り文字数30</p>

※1-3に御記入いただいた個別情報を公開資料に用いる場合には、下記連絡先に確認のお問い合わせをしますので、必ず連絡先を御記入下さい。

2.提案者情報 御応募される方(団体の場合は代表者)の情報についてご記入ください。

2-1. 所属 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数100
2-2. 役職	<input type="text"/>	残り文字数100
2-3. 氏名 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数20
2-4. 氏名(ひらがな) ※必須	<input type="text"/>	残り文字数20
2-5. 郵便番号 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数8
2-6. 住所 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数50
2-7. 電話番号 ※必須	<input type="text"/>	残り文字数20
2-8. メールアドレス ※必須	<input type="text"/>	残り文字数50
2-9. どちらでこの募集を知りましたか?(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 大学・学校・研究開発法人等より <input type="checkbox"/> 組織内の情報展開 <input type="checkbox"/> 家族・知人より <input type="checkbox"/> 新聞・雑誌 <input type="checkbox"/> Webニュース <input type="checkbox"/> HP <input type="checkbox"/> SNS <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他	
「その他」を選んだ場合ご記入ください。	<input type="text"/>	残り文字数100
個人情報の取り扱いに同意する ※必須	<input type="checkbox"/> 同意する	

 入力内容を
パソコンに保存する

内容確認画面へ進む >

※「入力内容をパソコンに保存する」は、スマートフォン端末、タブレット端末ではご利用頂けません。

Inspiring, Imaginative, Credible

ムーンショット型 研究開発制度

未来社会を展望したバックキャスト型の挑戦的研究開発に取り組みます！

社会課題等の募集

募集期間:平成31年3月15日(金)~4月15日(月)17:00

募集内容

解決を目指すべき社会課題

未来社会を見据えて、今後優先して取り組むべき課題とその領域・分野を募集します。【必須】

挑戦的な研究開発アイデア

社会課題の解決に向け、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく研究アイデアを募集します。【任意】

応募方法: <https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0384.html> から入力・応募ください

募集説明会を開催致します

日時:平成31年4月5日(金)

場所:国立研究開発法人科学技術振興機構 別館 1階ホール(〒102-0076 千代田区五番町7K's五番町)

参加申込:4月3日(水)12:00までに、受付フォーム(<https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0388.html>)にて必ずご連絡ください

※参加申し込みが定員(100名)になった場合、締め切り日時を待たずに参加受付は締め切らせて頂きます。

実施までの流れ

取り組むべき社会課題等を一般公募(3月~4月)

課題解決に向けた野心的な目標
(ムーンショット目標)の策定

研究開発プログラムの公募・実施

詳しくは内閣府ムーンショット型研究開発制度公式サイトへ <https://www8.cao.go.jp/cstp/moonshot/index.html>



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN



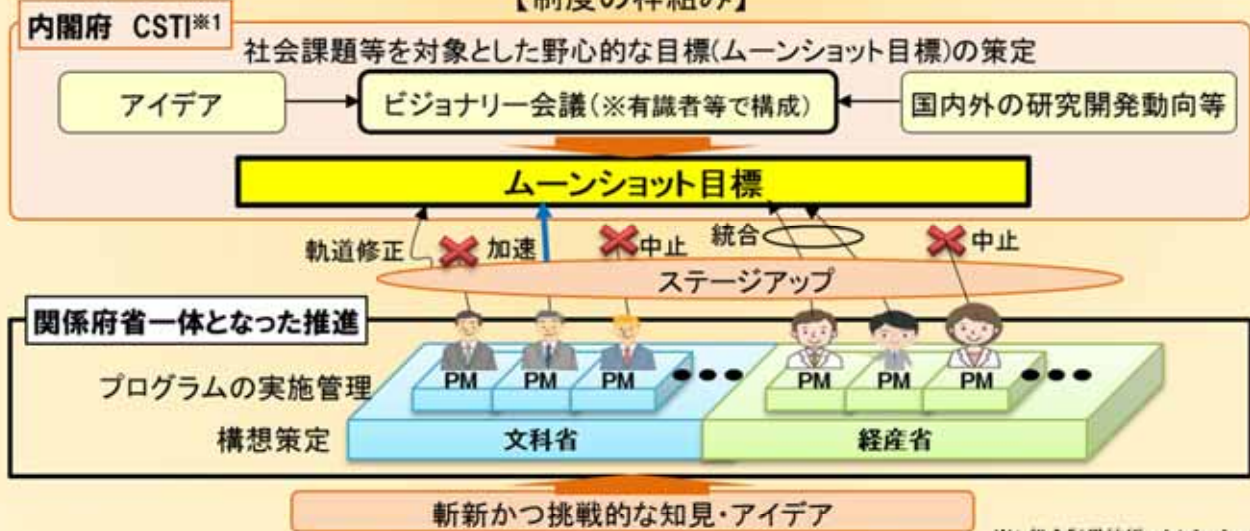
経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

制度のポイント

- 困難だが実現すれば大きなインパクトが期待される社会課題等を対象とした野心的な目標及び構想を国が策定
- 最先端研究をリードするトップ研究者等の指揮の下、**世界中から研究者の英知を結集**
- 我が国の基礎研究力を最大限に引き出す挑戦的研究開発を積極的に推進し、失敗も許容しながら**革新的な研究成果を発掘・育成**
- 進化する世界の研究開発動向を常に意識しながら、関係する研究開発全体を俯瞰して体制や内容を柔軟に見直す、最先端の研究支援システムを構築

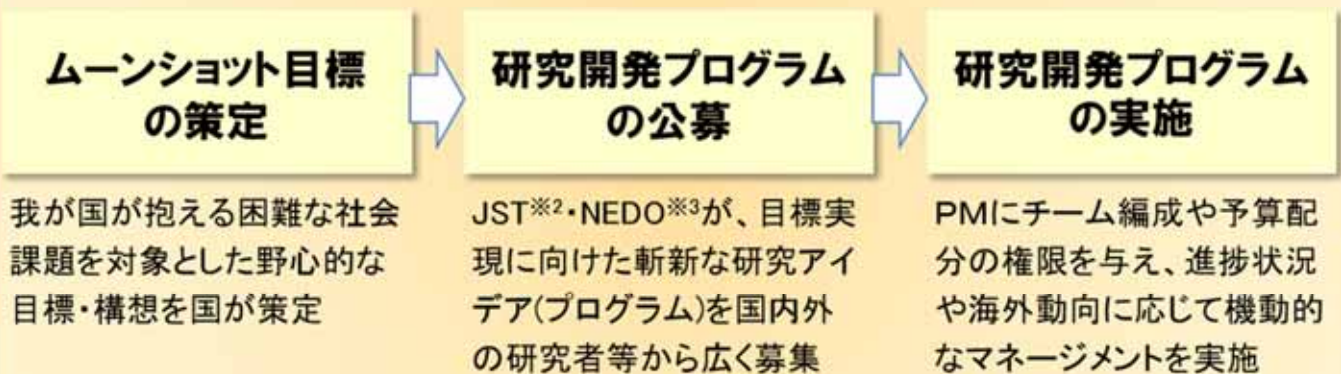
【制度の枠組み】



※1 総合科学技術・イノベーション会議

制度の実施手順

未来社会の姿(目標)を見据えてバックキャスト的に挑戦的な研究開発を推進



※2 国立研究開発法人科学技術振興機構

※3 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構